

1. 研究活動

<p>[著書] 『サミュエル・ベケット！—これからの批評』</p>	<p>2012. 3</p>	<p>水声社</p>	<p>本書は、早稲田大学演劇博物館グローバルCOE事業におけるサミュエル・ベケット研究の成果がまとめられたものである。岡室美奈子・川島健・長島確編。「I. [ゴドー]のいま」「II. 耳をすます—メディア」「III. 想像／創造せよ—散文」「IV. 反復のはてに—後期演劇1」「V. 幽霊たち—後期演劇2」の五章からなり、筆者は第一章（「結びのパラドクス—『ゴドーを待ちながら』における執筆の軌跡をめぐって」）を分担執筆した。</p>
<p>[論文] Lien à faire / Corde à (dé)tendre: Réflexion sur l'évolution des textes <i>En attendant Godot</i> de Samuel Beckett</p>	<p>2012. 3</p>	<p>『名古屋芸術大学研究紀要』第33巻</p>	<p>本稿は、第36回日本サミュエル・ベケット研究会での発表原稿を加筆訂正したものである。フランス国立図書館所蔵の『ゴドーを待ちながら』の手稿を解読することで、創作に伴う作者の意識の変遷を明るみに出し、これまで自明のものとされてきた「ゴドー」と「待つ」との結びつきを問い直す試みを行った。</p>

2. 教育活動 (教育実践上の主な業績)

大学院授業担当 有 無

授業科目 フランス語 I		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
初めてフランス語を学ぶ学生が、テキストにもとづいて実際に外国語を用いる場面を想像し、各々のシチュエーションに合わせて簡単な会話が行えるように導いた。作文や小テストを通して正確な綴りを習得すると共に、毎授業の最後にテキストの重要表現を含むフレンチポップスを聴いて声に出すことで、フランス語の音に慣れるよう工夫した。	テキスト、自作のプリント、映像資料	
授業科目 フランス語 II		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
既習者を対象に、様々なシチュエーションを想定した応用練習を行った。簡単な挨拶や指示はフランス語で行うことで、自然な発音を身につける工夫を行った。随時、重要単語や文法事項を解説したプリントを配布した。	テキスト、自作のプリント、映像資料	
授業科目 異文化入門		
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
毎回自作のプリントを用いて、様々なテーマ (家族関係、文学、美術、音楽、食文化、身体性、ポップカルチャー等) に焦点を当て、日本とフランスの文化の共通点と相違点を浮き彫りにした。最初の授業で学生が特に関心を持っているテーマを聞き、それと関連した授業が行えるよう工夫した。数回の授業ごとにレポートを課すことで、学生が互いに意見を交換する場を与え、異文化の問題を身近にとらえる機会を与えた。	自作のプリント、映像資料	

3. 学会等および社会における主な活動

日本サミュエル・ベケット研究会	1996. 4～現在	会員
日本フランス語フランス文学会	1997. 4～現在	会員
日本比較文学会	1999. 4～現在	会員
日本フランス語教育学会	2006. 4～現在	会員
早稲田大学演劇博物館グローバル COE	2007. 4～2012. 3	研究協力者